

番号	意見・質問・要望等	町の考え方	担当課	その後の状況 (R7.12.9時点)
1	五本松交流拠点の施設整備について、近年、資材や建築コストが高騰しているが、積立金等の資金は準備されているのか。	五本松交流拠点においては、令和3年11月に基本計画を策定しており、約20億円で施設整備を行う予定となっている。積立金としては、5億円の積立をしており、国の補助事業も活用することで、本町の財政運営に大きな影響がないよう施設整備を行っていく。	企画商工課	10月中旬に優先交渉権者が決定し、基本契約書の締結や、設計施工一括契約などの交渉を進めている。進捗状況については、可能な限り町公式ホームページ等に掲載していく。
2	五本松交流拠点の商業交流施設について、どのようなものを予定しているのか。	商業交流施設については、資金や建築、そして運営にかかるまで全て民間事業が行い、生活の魅力を高めるための「買い物と食」に特化した施設を整備する予定となっている。	企画商工課	10月中旬に優先交渉権者が決定し、基本契約書の締結や、設計施工一括契約などの交渉を進めている。進捗状況については、可能な限り町公式ホームページ等に掲載していく。
3	蓼池地区において、防災機能を備えた公民館等の多目的施設を早めに整備してほしい。	蓼池地区は、本町の中でも人口が多い地域であるため、防災拠点としての施設整備を早急に検討していかたい。	総務課	公民館を防災センターとして建築する場合、まず計画の見直しが必要。地区座談会でのご意見等を踏まえ、地域の現状を把握し、事業必要性の協議を行っていく。
4	前回公民館の敷地について、昨年、都市整備課職員に現場を確認してもらったが、プール撤去後の整地をお願いしたい。	昨年、都市整備課の方で現地確認をしたのであれば、内容を確認後、検討していただきたい。	都市整備課 福祉課	都市整備課では、昨年、現場確認を行った記録がなく、要望内容不明。関係課が改めて現場確認を行うことで調整した。
5	芝桜祭りを開催する際、トイレがなく不便なため、設置について検討していただきたい。	仮設トイレの設置費用について、観光協会の補助金を活用していただいた期間もあるが、今後についても総会や幹事会のなかで提案し、検討していただきたい。	企画商工課	町観光協会と協議を進めている。
6	竈門神社から殿岡農村広場にかけての道路改良について、進捗状況を教えてほしい。	用地買収が完了し、工事を進めている状況となっている。設計が終り次第、関係者に対する説明会を行うこととしている。	都市整備課	町道勝岡蓼池線との交差点の設計を行っており、道路線形等が定まってきたことから関係者への説明を実施した。引き続き事業を推進する。
7	殿岡農村広場のトイレについて、老朽化が進んでいるため、水洗トイレへの整備をお願いしたい。	利用状況について、現場で調査をさせていただき、今後検討していく。	農業振興課	町道改良後の農村広場の面積減少を踏まえて整備方針を検討していく。当分の間は、殿岡生活改善センターのトイレを開館中は使用可能とし、農村広場トイレに案内掲示した。
8	殿岡団地の跡地利用について、今後の計画を教えてほしい。	勝岡団地(正式名称)跡地の利用については、道路改良後に残る農村広場の面積や地元の方々の意向も踏まえ今後検討していくこととなる。	都市整備課	関係者との現地立ち合いにより、道路改良による農村広場の残地面積(見込み)について確認していただきたい。団地跡地の利用は地元の方々の意向も踏まえ今後検討していく。
9	リチウムイオン電池の処理について、町民に対する周知を徹底するべきではないか。	6月から役場と最終処分場でリチウムイオン電池等を回収することとしたので7月1日付回覧で案内予定。現在、使用製品も多岐に渡る。今後も必要に応じて丁寧な広報を心掛けたい。	環境水道課	町によるリチウムイオン電池等の回収開始と関連する注意点について、町ホームページに掲載したほか、7月1日付け回覧で周知・啓発を行った。
10	トイレの設置について、リース契約も検討してみてはどうか。	国からの交付金を活用し、リース事業が対象になるかを確認したうえで、今後検討していく。	総務課	内閣府から、新しい地域経済・生活環境創生交付金「地域防災緊急整備型」が創設されておりますが、現在本年度以降の案内がありません。町として、今後この交付金を活用することについて引き続き情報収集し検討していただきたい。
11	三原コミュニティーセンターの老朽化が進んでいることや住民が増えたことで、手狭になってきたので増築を検討したいが、町のほうで対応していただけないか。	公民館の施設整備については、補助事業があるので、その具体的な計画をお示しいただき検討したいので、教育委員会の窓口にお越しいただきたい。	教育課	8月初旬に自治公民館施設整備補助金について、生涯学習係から館長に説明。その後、8/25に生涯学習係から館長に再確認したところ、令和8年度での自治公民館施設整備補助金の要求は見送る(令和9年度以降に要求するかもしれない)とのこと。
12	支部加入問題に対して、町の考えを教えてほしい。	他の自治体においても、支部加入者が減少していることは大きな課題となっている。今後、支部加入を促進するための条例を制定し、町民へ呼びかけていくような取り組みを強化していく。また、旭ヶ丘運動公園内の民有地を取得できたこともあり、老朽化が進んだ施設の整備を今後進めていくことで、魅力ある地域づくりに努めていく。	企画商工課	8月に自治公民館や、子ども会、PTAの役員や、南九州大学の准教授などで構成する「三股町自治公民館加入促進条例検討委員会」を立ち上げ、検討を開始した。加入者減の要因などを協議する中で、役員のなりて不足なども上がっている。役員の負担軽減なども含めて今後も継続して検討する。なお、条例は、令和8年3月に制定する方向で進めている。
13	回覧板による情報発信について、より多くの人に内容を確認してもらうための取り組みをお願いしたい。	本町からの情報発信について、紙面とインターネットを通じて行う電子回覧板は同じ内容であり、それぞれの発信方法において、どちらも需要があるため、今後も併用して情報発信を行っていく。また、町公式LINEでも回覧板の情報を受け取ることが可能なため、是非活用していただきたい。	総務課	回覧板の情報を受け取ることが可能な、町公式LINEの登録者数は増加中。紙面とインターネットを通じて行う電子回覧板は同じ内容であり、それぞれの発信方法において、どちらも需要があるため、今後も併用して情報発信を行っていく。
14	公民館のゴミステーションについて、支部未加入者が利用していることが多い。このことについて、町の考えを教えてほしい。	利用者が主体的に管理するのがステーション方式。環境水道課へお尋ねの場合は近隣場所を紹介しており加入につながっている面もあるかと考える。一方、町が支部未加入者の排出利便性を向上させると「支部離れを促進する」との意見もあるところ。検討を続けていく。	環境水道課	排出場所に困窮する方への対策強化が必要ではないかとの観点から広域で利用できるステーションの設置ができないかについて検討を行っている。